

『2014大阪・泉州テキスタイル・ファッション・コンシエルジ
ユ展』
(第3回T.F.C)

～こだわりと共創～

【イメージアップ・情報発信・展示会企画】

展示会開催要項

大阪繊維産地活性化ネットワーク協議会

第3回T.F.C展
2014大阪・泉州テキスタイル・ファッション・コンシェルジュ展
～こだわりと共創～

大阪繊維産地活性化ネットワーク協議会(事務局:泉大津商工会議所)は、今年度も引き続き大阪府から委託を受け、アパレル・インテリア資材・雑貨向け素材の総合商談会『2014大阪・泉州テキスタイル・ファッション・コンシェルジュ展』(第3回T.F.C展)を開催することになりました。過去2回の開催経験から得た改善点等に即ちのブラッシュアップを図り、「こだわりを持った顧客と共に創る」仕組みを意味する『こだわりと共創』をテーマにスタートします。

【T.F.C展って、何?】

- ・モノづくり人間の出会いの場です
- ・商品の新たな編集が出来るヒト、コト、モノが揃った展示会です
- ・差別化ニーズに対応したコラボレーション先の出会いの場です
- ・ファッションテキスタイルからテクニカルテキスタイルまで、日本の素材の神髄です

「共創」とは、従来のように企業からお客様へ、またはお客様から企業へ一方的に働き掛けるのではなく、企業とお客様が協働して共に価値を創造することを言います。

・第3回T.F.C展のコンセプト

「出展社名を含め技術力・商品力を幅広く知ってもらい、テキスタイルビジネス情報発信の場」すなわち、自社の「こだわり」を集約して表現する工夫をして下さい。

また、情報を見せるだけでなく、相手が行動を起こしてもらえるプランを企てる事が重要です。それが共創であり、新たな人と人の結びつきが生まれ、産地活性化の起点となると考えます。

・「素材の国」=大阪・泉州

高級素材から、混合素材、綿の一貫産地と泉州は素材の宝庫です。この特権を大いに活用して下さい。また、原料メーカー、染色整理加工メーカーとの商品開発に取り組む場合は、見本費用の50%(上限30,000円)を事業予算から補助しますので、積極的に実施して下さい。

・商品開発ニュースを発信します

各社が実施する新商品開発を、記事として掲載してもらいよう事務局からプレスへニュースリリースします。

・お客様の要望に対してNOと言わない積極的な姿勢

出展者自身も「総合世話係=コンシェルジュ」となり、お客様の要望に対して「出来ませんわ」と言わない、新しいコラボレーションの提案を積極的に行って下さい。

・印象に残る展示会

(1)スペシャルセミナーの開催

(案)・百貨店バイヤーから見た消費者ニーズ

- ・テキスタイルトレンドセミナー
- ・ひつじ君が話すウールの話
- ・泉州タオルの秘密

(2)イノベーション提案(製品展示)を出展各社共通で行う

- ・新しい取り組み、新用途、ブランドコラボetc...

開催概要

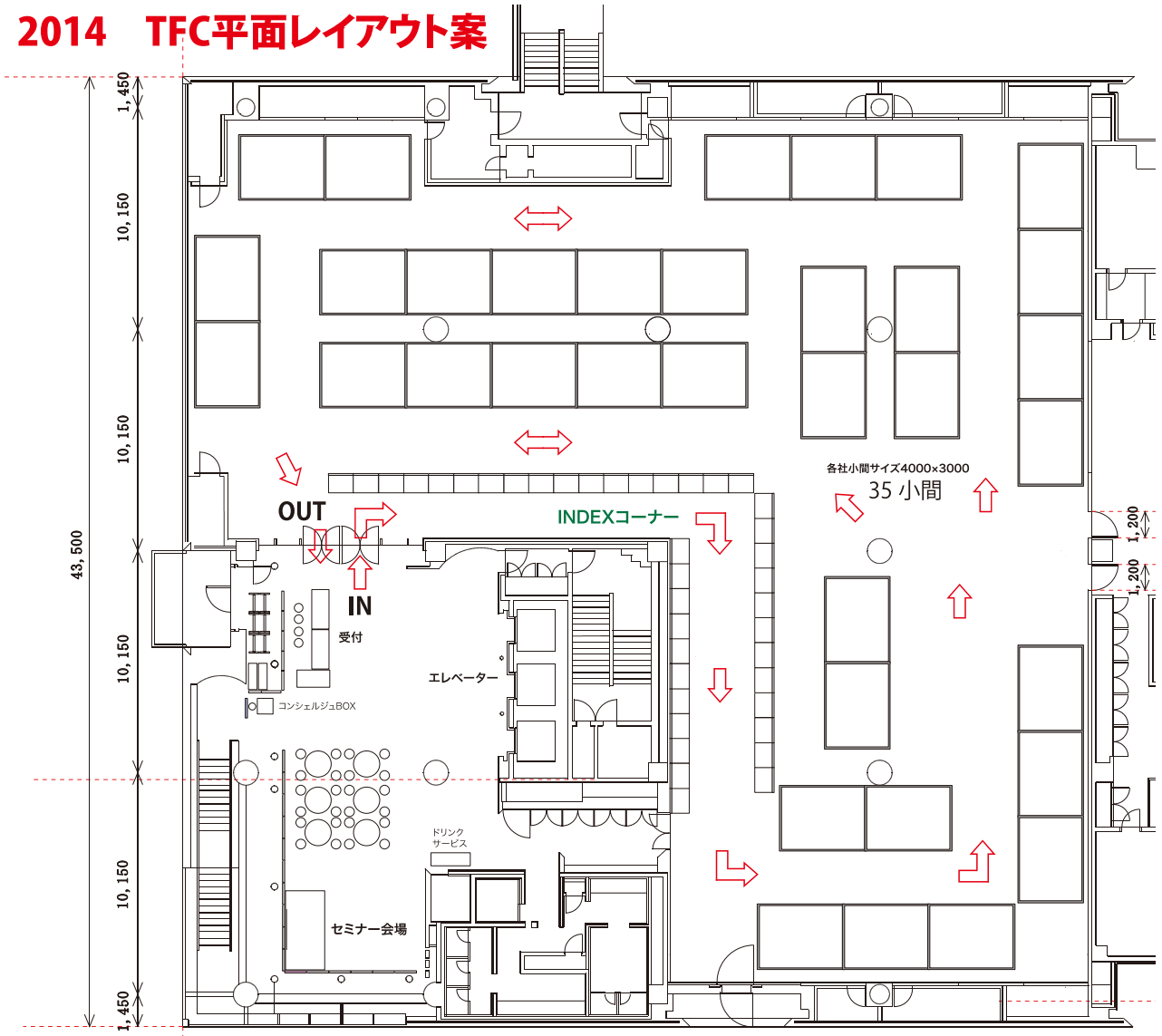
- ① 展示会の目的
大阪・泉州ブランドの周知と、アパレル・インテリア・雑貨向けテキスタイル・繊維製品等の販路開拓
- ② 出展対象者
大阪府下に企画・製造・販売の拠点を持つ繊維製品製造業者、加工業者、協同組合等
- ③ 開催予定【東京開催のみ】
会場 TEPIA (テピア) 3階A~C ホール 〒107 - 0061 東京都港区北青山2 - 8 - 44
(東京メトロ銀座線「外苑前」駅3番出口 徒歩3分)
展示装飾 10月15日(水)午後(午前中はブース設営工事)
開催日時 10月16日(木)・17日(金)(16日AM10時~PM6時、17日AM10時~PM5時)
搬出撤去 10月17日(金)展示会終了後PM5時~
- ④ 出展企業の受付に関して
※本展示会出展においては、出展申込み受付後、正副実行委員会内において出展審査を実施致します。
真にメーカーメリットが明確でない場合など、展示会趣旨にそぐわない場合は個別に調整させて頂く場合がありますのでご了承願います。
※出展料：1小間 50,000円(宿泊交通費、商品等運送費は出展者負担)
(1) 募集説明会：6月6日(金)テクスピア大阪3F第1研修室
(2) 出展意向の締め切り：6月30日
(3) 出展審査、調整期間：7月1日~7月中旬
(4) 出展者ガイダンス：9月上旬
- ⑤ 出展サポート業務
・ 「企業説明パネル」の制作内容や、展示会案内へ記載する「企業コメント」、出展商品等に関して
コーディネーターを招聘し、各社とのヒアリングを行い効果的な演出のサポートを行います
・ コーディネーターが出展者へ訪問し、出展方法に関する具体的なアドバイスを行います。

⑥ 展示方法に関して

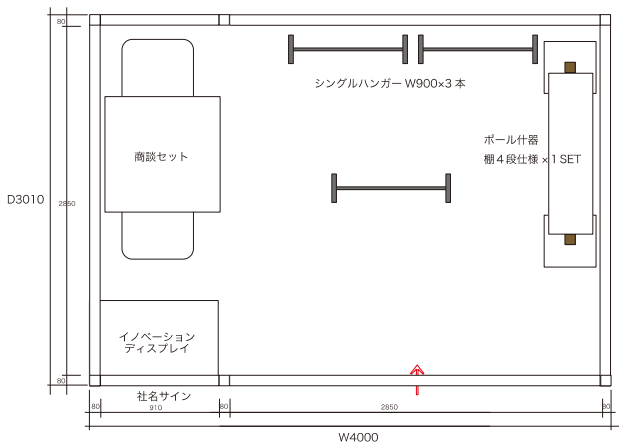
より産地のことを知ってもらうことと、全出展者ブースで商談が活発化するために、レイアウトを1から考え直しました。

- ・ インデックスゾーンは、全てのパネルがしっかりと見る事が出来る一方通行レイアウト。
- ・ 各社出展小間は、小間内での商談を円滑に行うため一回り大きなサイズにしました。
- ・ 会場内でお客様が全ての小間に回遊してもらうための導線を考えた小間配置。

2014 TFC平面レイアウト案



2014 サイズ



昨年サイズ

